

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-57978

(43)公開日 平成6年(1994)3月1日

(51)Int.Cl.⁵

E 04 H 3/22

6/04

G 03 B 21/56

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

9024-2E

F 9024-2E

Z 7316-2K

審査請求 未請求 請求項の数3(全6頁)

(21)出願番号

特願平3-110186

(22)出願日

平成3年(1991)5月15日

(71)出願人 391036194

有限会社エム・アイ・シー工業

福岡県大野城市仲畑2丁目2番40号

(72)発明者 林徹

福岡県福岡市南区平和1-23-20-403

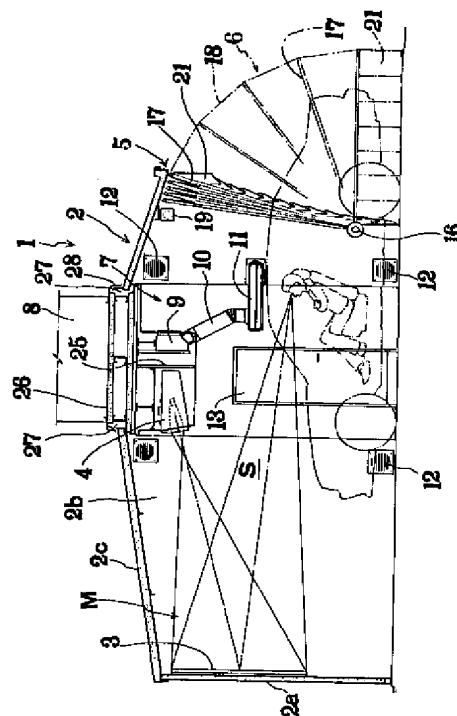
(74)代理人 弁理士 松尾憲一郎

(54)【発明の名称】 ガレージシアター

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 ガレージ内に自動車を乗り入れ、ガレージ内に設けた映像装置で映画等を自動車に乗ったままで鑑賞することができる。

【構成】 自動車を収納可能としたガレージ本体2の前壁内面に、映像を映す映像スクリーン3を取付け、さらに、ガレージ本体2の後側部を開口し、同開口部に、上下に摺動する開閉扉6を取付けて、ガレージ本体2の出入口5を設け、しかも、同出入口5に、幌状とした開閉扉6を設けて、自動車Aの後部を覆うように構成して、同ガレージ本体2への自動車の出し入れを容易に行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車Aを収納可能としたガレージ本体2の前壁内面に、映像を映す映像スクリーン3を取付け、さらに、ガレージ本体2の後側部を開口し、同開口部に、開閉可能とした開閉扉6を取付けて、ガレージ本体の出入口5を設けたことを特徴とするガレージシアター。

【請求項2】前壁内面に映像スクリーン3を有する前部ユニット22と、映像プロジェクタ4及びエアコン7の室内機8を有する中央部ユニット23と、開閉扉6を有する後部ユニット24とを組み立て、ガレージ本体2を構成したことを特徴とする請求項1記載のガレージシアター。

【請求項3】ガレージ本体2を自動車Aより短尺状に形成して、同ガレージ本体2の出入口より自動車Aの後部を突出させ、しかも、ガレージ本体2の出入口5に、幌状とした開閉扉6を設けて、自動車Aの後部を覆うように構成したことを特徴とする請求項1記載のガレージシアター。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車に乗ったまま、映画等を鑑賞することができるガレージシアターに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、映画等の鑑賞は、映画館で行われていたが、駐車場に、大型の映写スクリーン及び映写機を設置して、映画の鑑賞を行うものがあり、同駐車場に自動車を乗り入れて、自動車の中から映画等を鑑賞できるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記の駐車場を利用した映画館は、未だ、以下のような課題を有していた。即ち、駐車場を利用した映画館では、①広い映写スクリーンを設置するとともに、複数台の自動車を収納する為に、広い場所が必要である。②昼間は明るいので、映写スクリーンが白けて、特に、夜のみの鑑賞である。③映画館形式である為に、見たい映画を選択できない。等の問題を有していた。

【0004】本発明は、上記の課題を解決することができるガレージシアターを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明では、自動車を収納可能としたガレージ本体の前壁内面に、映像を映す映像スクリーンを取付け、さらに、ガレージ本体の後側部を開口し、同開口部に、開閉可能とした開閉扉を取付けて、ガレージ本体の出入口を設けたことを特徴とするガレージシアターを提供するものである。

【0006】また、本発明は、前壁内面に映像スクリーンを有する前部ユニットと、映像プロジェクタ及びエア

コンの室内機を有する中央部ユニットと、開閉扉を有する後部ユニットとを組み立て、ガレージ本体を構成したことを特徴としている。

【0007】また、本発明は、ガレージ本体を自動車より短尺状に形成して、ガレージ本体の出入口より自動車の後部を突出させ、しかも、ガレージ本体の出入口に、幌状とした開閉扉を設けて、自動車の後部を覆うように構成したことを特徴としている。

【0008】

10 【発明の作用】本発明では、出入口からガレージ本体内の収納空間に自動車を乗り入れ、そして、映像プロジェクタからの映像を、その前方の映像スクリーンに映して、自動車に乗ったまま鑑賞するものである。さらに、出入口からガレージ本体内に自動車を収納する際に、自動車Aの後部を出した状態で収納し、そして、開閉扉で、自動車の後部を覆うようにしており、自動車の全体をガレージ本体内に収納しない為に、同出入口からの出し入れを容易に行う。

【0009】また、本発明では、中央部ユニット、前部ユニット及び後部ユニットを連結することにより、その組立を容易に行うものである。

【0010】

【実施例】本発明の実施例を図面にもとづき詳説すれば、図1において、1は本発明に係るガレージシアターを示し、同ガレージシアター1は、1台の自動車Aを収納して、その中で映画等を映し、自動車Aから鑑賞するものであり、以下、その構成を詳説する。即ち、図2に示すように、地面に載置可能とした箱型のガレージ本体2内に、1台の自動車Aを収納できる収納空間Sを設けており、ガレージ本体2の前側内面に、映像装置Mの映像スクリーン3を設けるとともに、同ガレージ本体2の中央部に、映像スクリーン3に対向した映像プロジェクタ4と、後述するエアコン7の室内機9とを配設している。

【0011】また、ガレージ本体2の後部には、開口部を設けて、自動車Aの出入口5として、同出入口5に、開閉扉6を設けている。このガレージ本体2は、図2～図4に示すように、前壁2a、左右側壁2b及び天井壁2cを吸音合板等で形成して、防音性を向上させている。

40 【0012】さらに、天井壁2cの中央部には、映像装置Mの映像プロジェクタ4を取付けており、その前方の映像スクリーン3に映像を映すよにしている。また、ガレージ本体2には、エアコン7が取付けられており、天井壁2cの上部に、室外機8を設けるとともに、天井壁2cの中央部に、室外機8と接続した室内機9を設け、同室内機9から左右側壁2bに沿って、室内機9と接続された左右ダクト10を配設している。そして、左右ダクト10には、自動車Aの窓部からその室内にエアを送り込む為のサブスリット11を設けている。

50 【0013】かかる構成によって、自動車Aの窓部を開

けて、このサブスリット11からのエアを自動車A内に送り込み同自動車A内の空調を行うようしている。なお、12はガレージ本体2の内側に設けたスピーカ、13はガレージ本体2の右側壁2bに設けた扉体、14はインターホン、15はエアコン或いは映像プロジェクタ4を制御するコントローラを示す。

【0014】かかるガレージシアター1は、出入口5からガレージ本体2内の収納空間Sに自動車Aを乗り入れ、そして、映像プロジェクタ4からの映像を、その前方の映像スクリーン3に映して、自動車Aに乗ったまま鑑賞するものである。

【0015】次いで、ガレージ本体2の出入口5に設けた開閉扉6についてその構成を詳説する。即ち、ガレージ本体2の前壁2a、左右側壁2b及び天井壁2cを切欠して、やや大きめの出入口5を形成し、しかも、ガレージ本体2に自動車Aを収納した場合に、同出入口5から同自動車Aの後部が突出した状態とする。

【0016】さらに、ガレージ本体2の出入口5において、左右側壁2bに枢軸部16を介して、略コ字状とした複数のフレーム17の両側部を回動自在に枢着し、各フレーム17に、シート18を張設して、幌状とした開閉扉6を構成し、同フレーム17を上下に回動させている。また、天井壁2cの後部には、出入口5を開閉させる扉巻上機19を設けて、同巻上機19からのワイヤ20を最下端の開閉フレーム17に連結して、同巻上機19によって、各フレーム17を回動させて、開閉扉6の開閉を行なうようにしている。

【0017】本実施例では、最下端のフレーム17には、地面に伸延した幕21を取付けて、ガレージ本体2内に光が入らないようにしている。

【0018】本発明では、ガレージ本体2を上記のように構成しているので、出入口5からガレージ本体2内に自動車Aを収納する際に、自動車Aの後部を出した状態で収納し、そして、開閉扉6で、自動車Aの後部を覆うようにしており、自動車Aの全体をガレージ本体2内に収納しない為に、同出入口5からの出し入れを容易に行なうことができる。

【0019】また、本発明では、上記のガレージ本体2をユニット化して、その組立を容易に行なうことができ、以下、その構成を詳説する。即ち、本実施例では、図5に示すように、ガレージ本体2を、前側内面に映像スクリーン3を有する前部ユニット22と、映像プロジェクタ4を有する中央部ユニット23と、開閉扉6を有する後部ユニット24とより構成している。

【0020】前部ユニット22は、前壁2a、左右側壁2b及

び天井壁2cにより形成され、その前壁2aに映像スクリーン3を取付けている。また、中央部ユニット23は、左右側壁2b及び天井壁2cとにより門型に形成され、天井壁2cの中央部に、取付板25を垂設し、同取付板25に映像プロジェクタ4と室内機9とを取付けている。さらに、後部ユニット24は、左右側壁2b及び天井壁2cとにより門型に形成され、その後端部に開閉扉6を取付けている。

【0021】本実施例では、中央部ユニット23の天井壁2cの上部に、一定間隔をあけて外側板26を配設し、その間に設けた空間27に、前部ユニット22の天井壁2cの後端部と後部ユニット24の天井壁2cの後端部とを挿入するとともに、各ユニットの左右側壁2bを接合して、ガレージ本体2の組立を行なうようにしている。なお、28は中央ユニット23の天井壁2cに設けた接続係合体、29はガレージ本体2に設けた換気孔を示す。

【0022】

【発明の効果】従って、本発明によれば、以下の効果を有する。

【0023】①ガレージを利用して、その内部を映画館とすることにより、昼間でも鑑賞することができるとともに、ガレージ内で映写する為に、広い場所をも必要としない。

【0024】②複数のガレージシアターを設けて、各ガレージ毎に各種の映画等を映写する為に、見たい映画を選択できる。

【0025】③各ユニットを組立てることによって、ガレージシアターを容易に設置することができる。

【0026】④ガレージ本体を矩尺状として、その出入口に、幌状とした開閉扉を設けている為に、自動車のガレージ本体への出し入れを容易に行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るガレージシアターの斜視図である。

【図2】同ガレージシアターの縦断断面図である。

【図3】同ガレージシアターの横断断面図である。

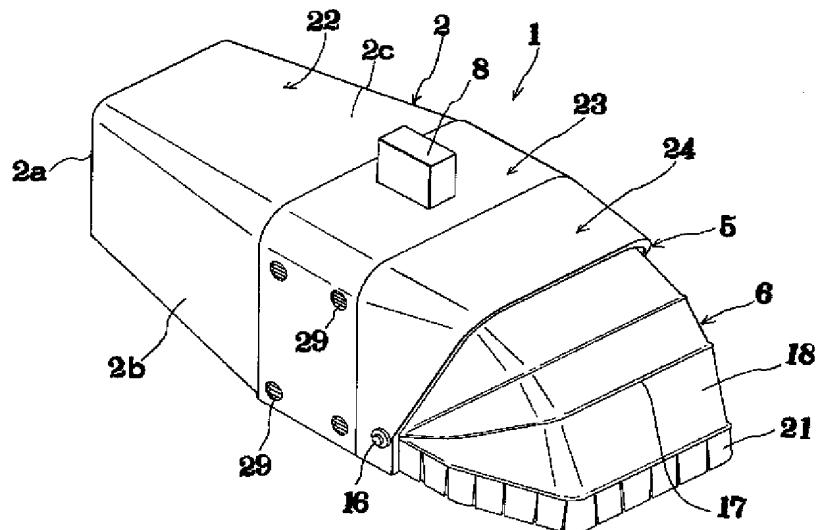
【図4】同ガレージシアターの底面図である。

【図5】同ガレージシアターの分解説明図である。

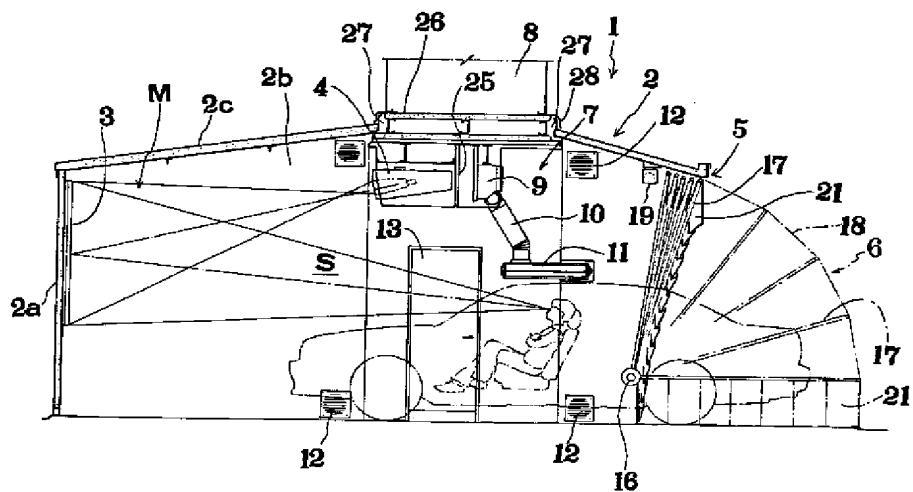
【符号の説明】

1	ガレージシアター
2	ガレージ本体
3	スクリーン
4	映像プロジェクタ
5	出入口
6	開閉扉

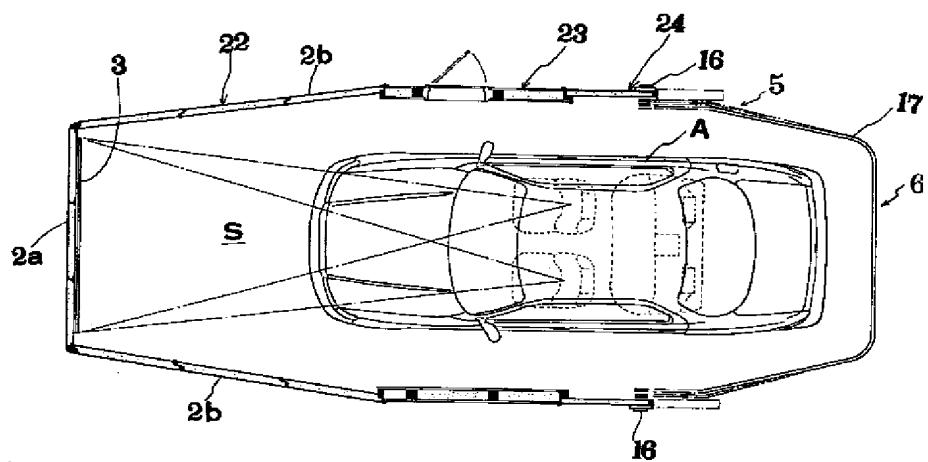
【図1】



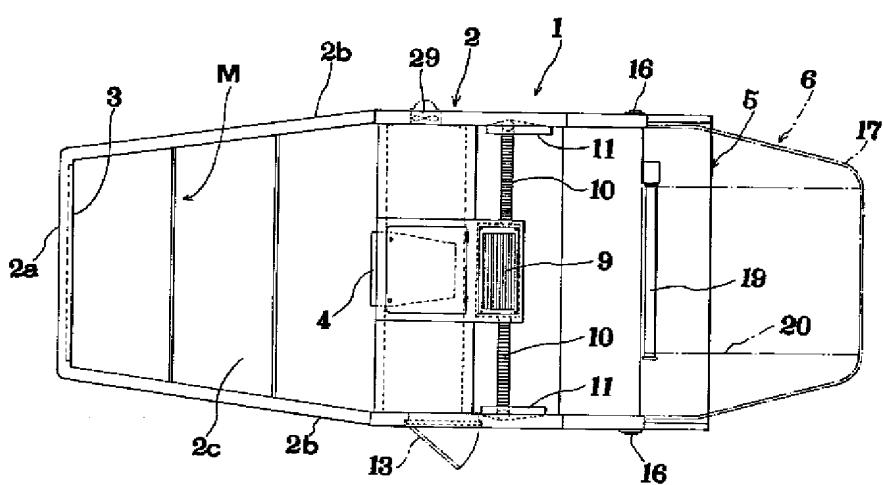
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

